

平成27年度一般会計補正予算

12月11日から、平成27年度第7回日野町議会定例会が開かれ、今年度の一般会計補正予算などについて審議されました。

予算については、移住定住促進住宅整備費補助事業やシイタケの6次産業化支援事業など、移住定住対策、地域特産品の魅力向上といった将来を見据えたまちづくりを目指すものとなっています。

なお、三町衛生施設組合負担金および町道根雨1号線歩道設置事業がそれぞれ減額補正されたため、今年度の一般会計予算は、3677万1千円を減額補正し、総額34億7328万4千円になりました。一般会計12月補正の主な事業の内容・予算額は次のとおりです。

☆日野町移住定住・定住促進住宅整備費補助金用（企画政策課） 300万円

移住（特にUターン）の促進と若者の町外流出に歯止めをかけるため、町内に5年以上定住する意志のある次の①～③のいずれかに該当する人に対し、住宅の新築・購入・改修（建て替え・改修の場合は家族所有の家に同居する場合も対象となる）にかかる費用の一部を助成します。

これにより、移住者の受け入れと若年層の定住促進を図ります。

- 【条 件】①町外から移住する人または転入後3年が経過していない人
②15歳未満の子を扶養している人 ③40歳未満の夫婦世帯（どちらか一方でも可）
【補助率】・新築住宅の建設または購入：住宅の建設費または購入費の1/2（上限150万円）
・既存住宅の購入または改修：住宅の購入費または改修費の1/2（上限100万円）

☆6次産業化支援事業（産業振興課） 25万3千円

日本一のご当地バーガーを決める全国大会で第2位に輝いたハンバーガー（奥日野きのこのコンフィバーガー）の食材としても活用されている日野町産シイタケ加工品の販売促進のための支援を行い、地域の特産品であるシイタケの販路拡大・6次産業化を図ります。

- ①町内で奥日野きのこのコンフィバーガーを販売（仮営業）、市場調査を行います。
②バーガーによる地域振興の先進地である淡路島を視察し、町内の応援体制づくりに取り組みます。

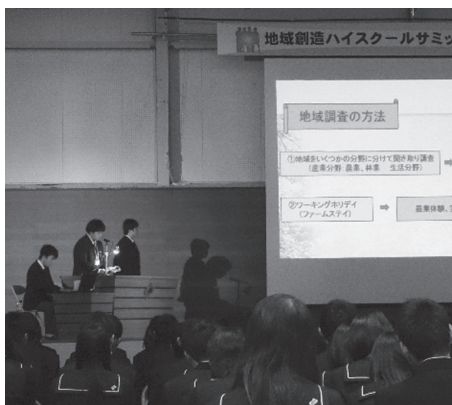


移住定住の促進、
地域特産品の魅力向上を図る

事業名	主な事業内容	予算額 (千円)
日野町移住定住促進住宅整備費補助事業	Uターン者などに対し、住宅の新築・改修にかかる費用の一部を助成。すでに居住している人も対象とする。	3,000
6次産業化支援事業	町の特産品でもあるシイタケの販路拡大を支援し、町全体で応援体制をつくり、「奥日野きのこのコンフィバーガー」で日本一を目指す。チラシ製作費、視察経費、テント購入費	253
リバーサイドひの喫煙室整備事業	リバーサイドひのに喫煙室を整備し、施設の分煙化を推進、利用者の健康増進を図る。	1,500
町道道路照明施設設置事業	町道野田宮ノ前線、町道荒神原線に道路照明（LED）を設置する。	2,052
集落営農組織法人化補助事業	集落営農組織の法人化を進める団体への補助。法人化することで、農地集積の受け皿をつくることができ、将来にわたって地域の農業を守ることができる。	800
選挙システム改修	平成28年8月の参議院議員選挙から選挙権が18歳以上に引き下げられることに伴う選挙システムの改修	460

「地域を知る・地域とつながる」

日野高校活動紹介



▲地域資源の有効活用をテーマに

12月5日、北栄町の鳥取中央英高校を会場に、県内外の7つの高校が一堂に会するハイスchoolサミットが開かれました。

これは、学習活動の中で地域連携に取り組む高校が、自校の活動内容や、学習の中で見えてきた地域の課題、解決策などをそれぞれが発表して、高校生の目線で意見交換することを目的としたもので

『高校生の目線で地域を元気に』 地域創造ハイスchoolサミット 2015in 北栄

す。海の自然を守るためにゴミ拾いをした高校、除雪隊を結成し冬は除雪活動に励む高校、アンケートで町の課題を探す高校など、アイデアに富んだ活動の発表がありました。

日野高校は、「地域資源の有効活用」をテーマに発表。和歌山大学と協働した研究活動、農村ファームステイなどで発見した地域資源や課題解決策を、どのように地域活性化に結び付けるかについて説明しました。発表の後のパネルディスカッションでも高校生たちは活発に発言し、お互いが大いに刺激を受けていたようです。このサミットでの経験をもとに、地域でどんどん活躍してくれることを期待しています！

(日野高校魅力向上コーディネーター 片平誓子)

産社・総学 学習発表会のご案内

日野高校では、毎年、生徒たちが日々の授業で学んだことを発表する機会を設けています。この機会に、皆さんにもぜひ発表会場にお越しいただき、生徒たちの活動を「ご覧ください」。

日時…1月28日(木) 午後1時～午後3時20分
会場…町文化センター・ホール森の音楽隊

発表内容…1年生「産業社会と人間」で学習したこと(全員)／
2年生「職場体験」について／3年生「課題研究」

協力隊通信 vol.1

中山 隊員編⑩ “人とのつながり・ふれあい”

地域おこし協力隊として活動する3人の隊員の日々の活動などを紹介します。第1回目となる今回は、中山法貴隊員(黒坂)編です。



子どもから大人まで
楽しく遊べます！

昨年の10月から日野町地域おこし協力隊として活動しています中山法貴です。

現在の活動は主に高齢者の生活支援活動や6次産業研修などです。そして、「ふれあい囲碁」という囲碁ゲームを使った地域コミュニケーション活性化活動をじわじわ行っています。

「ふれあい囲碁」とは、囲碁の碁盤と碁石を使った簡単なゲームで囲碁を知らない人でもすぐに参加

でき、遊びを通じていつの間にか仲良くなることができます。私はかばんに小さい碁盤をいつも入れて持ち歩き、機会を見つけては碁盤を取り出して皆さんと遊んでいます。これが思っていた以上に好評で、皆さん楽しく遊んでくれますし、いつの間にか打ち解けて仲良くなる素敵なきっかけになっています。

特に、日野ボランティアネットワークの集まりに出かけた時など、子どもから高齢者まで多世代が集まる場で楽しんでもらえたのはうれしかったですね。

さて、中山の今後の活動は、子どもたちの家庭学習の支援を行う学習センターを計画中です。地域の皆さんと協力し、子どもたちと楽しく学び、みんなが成長できる町をつくれたらいいなと思っています。